2020
9/19
(土)

横須賀上映
第29回
有料上映会

16ミリ試写室

映画「よあけの焚き火」と大蔵流狂言の上演・お話

● 映画「よあけの焚き火」上映
● 狂言上演「しびり」& お話

ゲスト出演
おおくらもとなり
大藏基誠さん
おおくらやすなり
大藏康誠さん
監督 土井康一

わたしも狂言、
やってみたいな。

よあけの焚き火

第21回小津安二郎記念
蓼科高原映画祭
正式招待作品

第67回
サン・セバスティアン
国際映画祭
新人監督部門正式招待作品

大藏基誠　大藏康誠　鎌田らい樹　坂田明

監督・脚本・編集：土井康一

プロデューサー：村山憲太郎　撮影：丸池納　照明：三重野聖一郎　録音：北村峰晴　音楽：坂田学

製作・配給：桜映画社　配給協力：ポレポレ東中野

2018年 / 72分 / カラー / ビスタ / 日本

3月1日のチケットで入場できます。

2020年 **9月19日（土）** 13：30～（開場 13：00）

横須賀市 文化会館 大ホール

京急横須賀中央駅下車 徒歩10分
横須賀市深田台50　☎046-823-2950

チケット料金 1,500円　全席自由席

※なお、狂言の演目は変更することがあります。予めご了承ください。

チケット販売：横須賀市文化会館　☎046-823-2950
品川文化堂(大滝町)☎046-823-1848

主催：16ミリ試写室　http://y16miri.com
共催：横須賀市教育委員会
後援：横須賀市 (公財)横須賀市生涯学習財団
横須賀文化協会 (福)横須賀市社会福祉協議会

問合せ：☎090-2901-0862（松澤）

新型コロナウイルス
感染防止
ご協力のお願い

体調の優れない方は参加を控えて下さい
半券に氏名と連絡先電話番号を書いて下さい
マスクの着用をお願いします
密を避けるため定員は500人です

父と息子。職業、狂言方。雪解け近い、山の稽古場。

六五〇年の伝統をもつ狂言方の家に生まれた大蔵基誠（おおくらもとなり）と、十歳になる息子・康誠（やすなり）。
冬、父と息子は山の稽古場へ向かう。
二人は何を目的に、この山奥を訪れたのか。
ある日、親子の姿を静かに見つめる少女、咲子が現れる。
家族の歴史を背負った康誠と、家族を失った咲子。
「運命」を背負った二人の心が静かに交差し始める……。

ドキュメンタリーとフィクションを行き交いながら紡がれる家族の物語。

伝統芸能をモチーフに、「伝えること」という普遍的なテーマを昇華させた稀有な作品が誕生した。映画初主演にして自身を演じるという難役を果たした大蔵基誠・康誠は、大蔵流狂言方の実の親子。共演にミュージシャンの坂田明、『幼な子われらに生まれ』(17) で注目を集めた鎌田らい樹を迎え、それぞれが踏み出す一歩をみずみずしく演じている。監督は本作が劇場デビュー作となる土井康一。長野県蓼科の大自然を風格ある映像で捉えたベテラン・キャメラマン丸池納ほか、本作を描くにふさわしいキャスト・スタッフが集まった。

康誠君のとても綺麗な目、優しい声に惹かれました。彼の懸命な姿を見つめる咲子にも笑顔が増えて行く。咲子は狂言を知っていたのか、それとも知らずに笑顔になれたのか。能楽師狂言方の力強さを感じた。よし。また、観に行こう。　——俳優　柳楽優弥

焚き火とは映画のことである。映画の放つ光の揺らめきの前で、観客は静かに告白を始めるのである。わたしもこの映画との対話によって、自分の行く末が見えてきた。「よあけの焚き火」はそういう力を秘めた、静謐な空のような映画なのである。
——多摩美術大学名誉教授　前橋文学館館長　萩原 朔美

監督　土井 康一

1978 年、神奈川県生まれ。自由学園、多摩美術大学卒業。写真と映画という２つの方法で独自の作品を手がける本橋成一に師事し、『バオバブの記憶』（08）などの助監督をつとめる。2009 年より桜映画社にディレクターとして勤務。小栗康平監督『FOUJITA』（15/ 監督助手）、文化庁工芸技術記録映画『彫金』（17）、『蒔絵』（18）で教育映像祭優秀作品賞、国際短編映像祭映文連アワード部門優秀賞受賞。テレビ東京『ガイアの夜明け』『カンブリア宮殿』などのテレビ番組や CM、プロモーションなど、多くの作品を手がけている。

16ミリ試写室

『１６ミリ試写室』は 1977 年に発足。「どこでも素敵な映画館」を合言葉に、県や市の視聴覚ライブラリー所有の 16 ミリフィルムや映写機を活用し、視聴覚教育活動を続ける女性の NPO 団体です。横須賀市内の図書館やコミセンなどの社会教育施設、老人ホーム、障がい者施設、地域の集会室などで年間約 100 回の映画会を開催しています。さらに、「心に響くメッセージを廉価で届ける」を目的に、ドキュメンタリー映画を中心に有料上映会も開催しています。
2013 年春 地域交流支援活動奉仕団体として緑綬褒章を受章。